

一般国道475号 東海環状自動車道（養老IC～北勢IC） [有料事業費の変更]

西回り区間 約77km

東回り区間 約76km



東海環状自動車道	高規格幹線道路
—— 開通済	—— 開通済
- - - 事業中	- - - 事業中
◇ : JCT	
○ : IC	○ : スマートIC
△ : SA・PA	

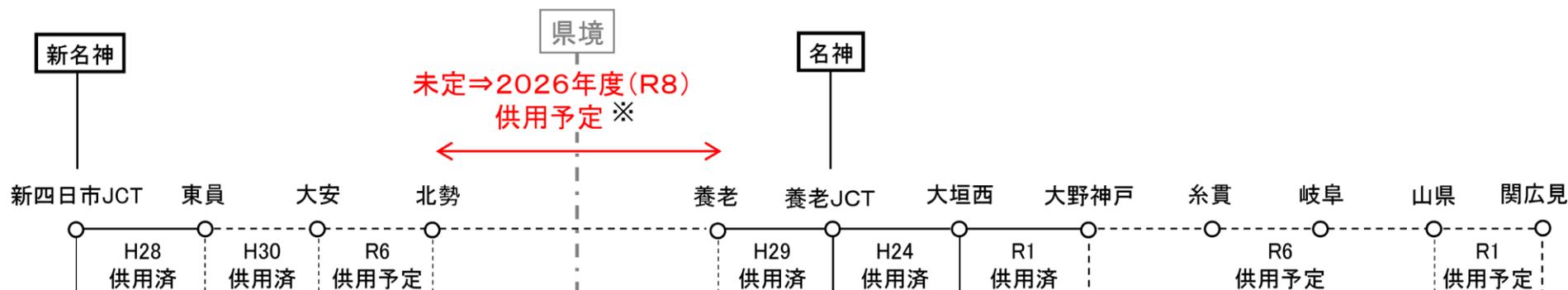
注) IC、JCT名称には仮称を含む

一般国道475号 東海環状自動車道（関～四日市）に係る有料事業額及び施行区分（案）

○ 東海環状自動車道（養老 IC～北勢 IC）については、これまで有料道路事業と公共事業の組み合わせにより整備を推進してきたところ、今般、中京圏の新たな高速道路料金の導入により確保する財源を活用して、有料道路事業の額及び施行区分を拡大することで、事業を加速する。

<施工区分図>

（全体事業費[暫定整備] 約8,130億円）



舗装・設備工事	有料道路事業(中日本高速会社) 約2,100億円 (現行有料道路事業許可(約1,750億円))	
上記以外	公共事業	

※ 用地取得等が順調な場合

一般国道475号東海環状自動車道（養老～北勢）に係る関係自治体等の主な意見

〔三重県の意見〕

東海環状自動車道（養老～北勢）の施工区分の変更について、異存ありません。

有料道路事業を活用して整備加速されることは、地域の活性化に資するものと期待しています。併せて、開通の見通しを公表して頂きますようお願いいたします。

東海環状自動車道は、新東名・新名神などの高速道路と広域的なネットワークを形成し、沿線企業の生産性向上や観光交流の拡大など多大な効果を発現することから、早期全線開通をよろしくお願いいたします。

また、令和6年度と開通見通しを示されている北勢から大安間につきまして、1日も早く開通して頂きますよう重ねてお願いいたします。

〔岐阜県の意見〕

照会いただいた内容については、異存ありません。

東海環状自動車道は、首都圏と近畿圏、日本海側圏域と太平洋側圏域を結ぶ「ロータリー」として機能し、東海地方のみならず日本の経済や産業を支える極めて重要な社会基盤です。

このため、本自動車道の整備加速に向け、早急に有料道路事業費の増額を決定し、合わせて開通見通しを公表するとともに、1日も早い全線開通をお願いします。当県においても、本自動車道の整備加速に合わせ、インターチェンジに繋がるアクセス道路等の整備を着実に進めてまいります。

高速道路会社の意向

〔中日本高速道路株式会社〕

意向確認のありました東海環状自動車道（養老～北勢）における有料道路事業の活用につきましては、中京圏の高速道路ネットワークの整備加速に資するものであり、弊社として積極的に取り組んでまいります。事業実施に際しては、弊社の建設・管理に係る技術・ノウハウ・人材などの経営資源を活用することにより、効率的に整備を進め、一日も早い完成に向け、最大限の努力を図ってまいります。